

豊かな長寿社会を実現するために

# いたやい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会  
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地  
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(茨城県総合福祉会館)5階  
TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

No.60  
発行 2023.9



## 特集

### 「高齢社会への挑戦! 介護ロボット・ICT導入」

～介護現場の生産性向上・持続可能な事業運営のために～

社会福祉法人樅山会 副理事長 理学療法士 坪 真毅

介護人材不足が深刻化するなかで、介護ロボット・ICT導入による業務の効率化は必要不可欠です。当法人でもICT導入を促進して職員の負担軽減に努めています。今回は当法人の取り組みの一つである、見守り機器について紹介したいと思います。

#### 見守り機器 眠りSCAN®の活用

機器としてはパラマウントベッド株式会社の眠りSCAN®を活用しています。眠りSCAN®とは、ベッドに設置したセンサーにより入眠状態、呼吸数、心拍数、離床状態を測定し、睡眠状態を把握するシステムです。これによりご利用者の生活リズムや健康状態をパソコンや携帯端末のモニターでリアルタイムに把握することが可能になります。ご利用者それぞれの状況が「見える化」され、体調変化の早期発見が可能となり職員は効率的に必要なケアを行つことができます。

**導入の背景 職員とご利用者がお互いに安心で安全な環境になるために**  
導入の背景として、職員の退職、休職、産休など予測が困難な状態で新人からベテランの職員が入り混じる職場であるため、見守り機器の導入により職員



の経験や勘ではなく、データで見える化ができるようになり、職員とご利用者がお互いに安心で安全な環境になることを目的に導入を始めました。

#### 導入効果 効率的な見守りが可能

導入効果として、ご利用者の睡眠状況をリアルタイムにモニターで把握できるので、夜間でも効率的な見守りが可能となりました。夜間巡回の際にも定期巡回をする必要がなくなり頻回な訪室を減らすことでご利用者の睡眠妨げることなく、トイレ誘導やおむつ交換を行えるようになりました。効率的な見守りによつてご利用者の状況を予測しながら次のケアを考える余裕も生まれ、職員の身体的かつ精神的な負担が軽減され、ご利用者にとっても職員にとつても、より安全で過ごしやすい環境が得られました。また、起床

時には声かけのタイミングを図つて自然な目覚めを促せるようになりました。睡眠状態が把握できるので眠剤の服薬管理もできるようになりました。

#### 当初の課題 機器の使い方の周知

導入における当初の課題としては、機器の使い方の周知に時間がかかりました。そのため、使ってみてのアンケートを実施することで導入に対する理解度を確認しながら少しずつ定着を図りました。全員集合での使用方法の研修は人員配置上で困難なため、使い方の動画を各自で確認するように工夫しました。すでに導入済みで職員が使い慣れている見守り機器であるコールマットと併用することもあり、アラームが増えた職員の負担が増えてしまうことがあります。また、眠りSCAN®の通知のみでは不安があるとのことで巡回をすることがありましたが、アラームの設定や機器に慣れることで改善することができます。また、機器の予算については茨城県ロボット介護機器普及支援事業による補助金を活用しました。

#### さらなる取り組みは 介護現場のPDCASイクル機能の向上等

さらなる取り組みとして、アセスメントに基づく介護として、介護現場のPDCASイクル機能の向上、排泄の自立支援、ケアプランへの反映をしながら、より専門的で科学的な介護によるサービスの質の向上を目指していくと考えています。

## 書かされる記録から楽しみながら行つ記録へ

社会福祉法人正和会 特別養護老人ホーム成華園  
介護課長 岸田 隆也

団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年は間近。介護人材不足は、深刻化を増す中で、業務の効率化、生産性の向上が不可欠である。解決手法の一つとして、ICT活用や介護口ボットの導入による、入所者のサービスの向上と職員の業務負担軽減、効率化を図つていく必要があります。

### 〈記録ソフトの導入〉

当園では、2022年度に新たな記録ソフト（ケアコネクトジャパンのケアカルテ）を導入致しました。開設当初から、介護記録ソフトを使用しているたりと記録業務の無駄に繋がり、スタッフ達の負担に繋がっていました。

導入の決め手はケアカルテ

導入の決め手になつたのは、ケアカルテは、介護記録ソフトに特化したメーカーであり、iPadやiPhoneとの連携はもちろんなのと、様々な介護口ボットや福祉用具と連携が図ることが出来ます。また、メカーオリジナルのカスタマイズ機能が



導入後、バーレス化が望めると提案しました。スタッフ達には、多くの魅力を伝え、記録入力時間が大幅に削減することが出来且つ、時間外も少なくなり、業務効率化と負担軽減が出来ると説明をしました。

あり、記録入力の簡略化と業務負担の軽減に繋がり、各専門職の情報共有の強化とペーパーレス化が出来ると確信した為、導入したいと強く思いました。しかし、ケアカルテの良さは感じていましたが、システムを入れ替えるによる改善点を可視化し、明確な数値目標がないと経営層には動いてもらえないと思い、数値化した目標を提案し、10年間使い続けることで前のシステムより300万円程、コスト削減出来る試算になり、年間2000枚以上のペーパーレス化が望めると提案しました。

年間使い続けることで前

のシス

トよりも時間が明るかに早くなり、平均して100分程、時間外労働削減に繋ぐことができました。スタッフ達も書かされていた記録から、楽しみながら記録をしている姿を見て、導入してよかったです。

導入直後、僅か2週間後には結果が出ました。タイムカードの退勤打刻で済むようになります。80名分の日常記録もちょっととした隙間時間で入力することができるようになりました。夕方まとめて記録入力をすることが無くなり、空いた時間は利用者との関わりの時間に充てることが出来るようになりました。



ハナスト  
「話す」だけで、介護の仕事をシンプルに。

ハナストは、介護記録、医療、申請など、介護タスクの複数業務をまとめて記録できるアプリです。

① 労働災害の状況

茨城県内の死亡災害、令和3年、4年と2年連続増加、令和4年は30人に

厚生労働省、茨城労働基準監督署及び県内各労働基準監督署では令和5年度を初年度とする第14次労働災害防止計画を推進して、災害の減少、死亡災害の撲滅を目指しています。

全国の令和4年の労働災害による死

亡者数は774名で過去最少（前年比4人減）、休業4日以上の死傷者数は132、355人でした。いずれについても労働災害は長期的には減少傾向にありますが、近年は休業4日以上についてはやや増加傾向にあります。茨城県内においても同様の傾向にあります。令和3年、令和4年の死亡災害は2年連続で増加しており、令和4年は30人に達しました。

## 介護施設における腰痛予防などの対策の必要性について（労働災害防止対策の観点から）

厚生労働省 茨城労働局 労働基準部 健康安全課  
主任衛生専門官 中村 剛

して、チェックして清書するという作業がi-Pad上で済むようになります。80名分の日常記録もちょっととした隙間時間で入力することができるようになりました。夕方まとめて記録入力することが無くなり、空いた時間は利用者との関わりの時間に充てることが出来るようになりました。

導入直後、僅か2週間後には結果が出ました。タイムカードの退勤打刻時間が明るかに早くなり、平均して100分程、時間外労働削減に繋ぐことができました。スタッフ達も書かれていた記録から、楽しみながら記録をしている姿を見て、導入してよかったです。

導入直後、僅か2週間後には結果が出ました。タイムカードの退勤打刻時間が明るかに早くなり、平均して100分程、時間外労働削減に繋ぐことができました。スタッフ達も書かれていた記録から、楽しみながら記録をしている姿を見て、導入してよかったです。

導入直後、僅か2週間後には結果が出ました。タイムカードの退勤打刻時間が明るかに早くなり、平均して100分程、時間外労働削減に繋ぐことができました。スタッフ達も書かれていた記録から、楽しみながら記録をしている姿を見て、導入してよかったです。

導入直後、僅か2週間後には結果が出ました。タイムカードの退勤打刻時間が明るかに早くなり、平均して100分程、時間外労働削減に繋ぐことができました。スタッフ達も書かれていた記録から、楽しみながら記録をしている姿を見て、導入してよかったです。

## ② 社会福祉施設の災害の傾向

行動災害といわれる腰痛や転倒で

### 全体の割

茨城県内の社会福祉施設における休業4日以上の労働災害は200件でしたが、この数字は10年前と比較すると約2・2倍です。（職場で新型「コナウイルス感染症に罹患したものを除く）。

さらに、令和4年の県内の社会福祉施設の労働災害を、事故の型（発生態様別に分類したもの）別に見ると、動作の反動・無理な動作（腰痛など）30%、転倒30%、その他（墜落・転落9%等）の順に多く、いわゆる行動災害といわれる腰痛や転倒が全体の6割を占めています。

## ③ 転倒災害対策

社会福祉施設における転倒災害の

40%がつまずき、31%が滑り

社会福祉施設における転倒災害の40%は「つまずき」、31%は「滑り」によるもので、ついで約7割を占めます。さらに、「つまずき」の原因は、通路の段差（15%）、設備、家具等（12%）、利用者の車椅子等（8%）、車止め等（7%）、コード等（3%）によるものの他、何もないところでもまづいて転倒したり足がもつれたものが33%占めています。よって、転倒やケガをしにくく体作りのための運動プログラムの導入の他、急がせて作業させない仕組み作りなどソフト面を通じた対策を、ハード面の対策と共に進めることが重要です。

じた対策を、ハード面の対策と共に進めることが重要です。  
被介助者の作業能力を適切に把握し、介護への協力度合などを踏まえた上で、被介助者ごとに作業を最適化し、さりげない同じ作業方法をじる事ができます。他の介護者の負担感も減る可能性があります。

厚生労働省では「職場における腰痛予防対策指針」（平成25年6月改訂）を示し、福祉・医療分野における介護・看護作業の腰に負担の少ない介助方法などを示しています。

第14次労働災害防止計画においては、介護・看護作業における腰痛対策として、アウトプット指標「2020年度までにノーコンタクトケアを導入して事業場を2020年より増加させね」との目標を掲げています。ノーコンタクトケアとは腰部に負担の掛からない介護技術のこととし、介護者の状態に応じて設置式リフトやスタッフティングマシーンの使用等介助者の腰部への負担軽減だけでなく、被介助者の受益向上も目指したものですが、この取組は腰痛災害の減少につながるものと期待されています。



## ⑤ 安全衛生教育

医療・福祉の分野では正社員以外

の教育は44%が未実施、実施率

80%へ

第14次労働災害防止計画では、アウトプット指標で「医療・福祉の事業場における正社員以外への安全衛生教育の実施率を80%以上とする」との目標を掲げています。医療・福祉の分野では44%が正社員以外への雇入れ時教育を未実施とのデータ（平成28年）があります。

保つ」とも重要なことです。そのためには、自身が注意喚起することで、災害の発生をなくしたり、発生しても被災の程度を低減することができる可能性があります。

また腰痛予防としても、腰痛予防体操や職場におけるリスクの見積もり方、リフトなど福祉用具の適切な使用の方法の他心理的・社会的な要因の留意点、メンタル面での心構えなど教育面からのアプローチを非正規労働者に広げることは有用と考えられます。

厚生労働省では昨年から労働災害に対する問題点の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟店メンバーの認知度向上などを図る目的で、SAFEコンソーシアムを立ちあげ、シンポジウム、アワード（表彰）などを通じて加盟事業場を広げています。

また、各都道府県ごとに介護施設、小売業それぞれに対し、管内のリーディングカンパニーや地方公共団体、業界の関係団体を構成員とする協議会を立ち上げ、安全衛生対策を業界全体に広げる取組を開始しています。

## ⑥ SAFEコンソーシアムと茨城県+SAFE協議会等の取り組み内容



## 介護講座のご案内

ご自宅や事業所で介護を担う方のために介護講座を開催しています！皆様のスキルアップとなる内容ですので、ぜひご受講をお勧めいたします。詳しくは当会ホームページの「介護講座案内」をご覧ください。

### \*申込方法

「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「介護講座」内の申込フォームから申込

\*受講料…1講座につき 3,500円



●オンライン (ZOOM) 形式 (いずれも13:30～16:30、3時間)

1	「根拠に基づく科学的ケアマネジメントの実践」 LIFEやAIなどの科学技術の活用術等解説します。	令和5年10月19日 (木)
2	「食事支援の専門性を高める高齢者にやさしい栄養と食事」 高齢者が必要な栄養を摂取しながら楽しく食べられる食事法を学びます。	令和5年10月24日 (火)
3	「ACPに基づくターミナル・ケアマネジメントの実践」 本人による決定を支援するプロセスについて具体的に解説します。	令和5年11月16日 (木)
4	「自立支援効果をもたらすためのチーム・アプローチ (多職種協働・連携)」 ケアマネジメントで重要なチーム・アプローチの効果的な実践法を伝授します。	令和5年12月8日 (金)
5	「認知症ケアのリスクマネジメント」 認知症ケアの基本知識と技術をお伝えします。	令和5年12月18日 (月)
6	「主任介護支援専門員向け『適切なケアマネジメント手法』の実践的指導方法」 実際に現場で生かすための活用イメージを講師と共に検討し学びます。	令和6年1月11日 (木)
7	「地域づくりへの取組みと社会資源の開発手法～地域力向上のために必要な視点とは～」 地域課題を把握し、地域づくりを十分に実践させるための手法を学びます。	令和6年2月15日 (木)

●会場集合形式 (いずれも13:30～16:30、3時間)

8	「見直そう！排泄ケア」 正しい排泄介助で利用者と介護者共々満足する手法を学びます。	令和5年12月22日 (金)
9	「リハビリテーションマインドを介護現場で生かすには」 「機能訓練」だけでなく、生活や介助の関わり方もそのひとつとされる「リハビリテーション」について、その関わり方を学びます。	令和6年1月17日 (水)
10	「集団レク・エクササイズ（ペーシック）」 集団レク・エクササイズの目的と効果を学び、日頃のレクの質を上げましょう。	令和6年2月8日 (木)

### <茨城県委託：地域介護ヘルパー養成研修事業>

開催趣旨：「基本的な介護知識を学んで家族介護や地域ボランティア活動のツールとするために」

研修日：10月4日から週1回 5日間 場所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 受講料：無料

\*日時等、詳しくは、「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「茨城県委託：地域介護ヘルパー養成研修事業案



**特設コーナー展示**

特設コーナーでは、月替わりでおススメの福祉用具の展示を行っています。

場所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館  
1階  
12月 移動用リフト (写真は過去のものです)  
9月 10月 歩行器  
11月 手すり

※協力：日本福祉用具供給協会茨城支部

**福祉用具展示ホールについて**

福祉用具展示ホールでは、車いす、介護ベッド、杖等の福祉用具、介護ロボット等約400点を展示しております。見て、触れて、お試しできますので、ぜひご来館ください。貸出可能なものもございます。(販売は行っておりません。)

● **新展示品の紹介**

(展示協力：群馬電機株)  
離れて暮らす大切なご家族へ…ご家族の声で時間になるとお知らせします。「お薬の時間だよ」「きょうは燃えないゴミの日だよ」「変な電話に騙されないでね」等、メッセージを録音できます。最大10件のメッセージ(最長1分)が録音可能、時間・曜日の設定もできます。種類は、しば(犬)とみけ(猫)の2種類。

● **貸出ロボット・図書**

介護技術関連のロボット、図書の無料貸出を行っています。(ホームページ内で貸出の一覧をご覧いただけます。)

貸出条件・①お一人様一回3点まで②貸出期間 2週間(延長可)③送料負担で送付可能

● **おスマート図書「介護職が働き続けたいと思える職場のつくり方」**

職場で必要な職員の「心理的安全性」について、解説と共にQRコードにて動画でも確認することができます。とても理解しやすい内容です。

（茨城県総合福祉会館）2階  
開館時間 9:00～17:00 (土日祝日除く)  
電話 029-1244-144205